

現代を代表する
舞踊家による

第六十三回
日本舞踊協会
公演

令和2年 2/22(土) 2/23(日)

[開演] 昼の部 12時/夜の部 午後4時30分 ※ 開場30分前

国立劇場大劇場

東京都千代田区隼町4-1
☎ 03-3265-7411



nihonbuyou_kyokai



公益社団法人 日本舞踊協会

文化でつながる。未来とつながる。

TokyoTokyo
FESTIVAL

2020 都民芸術フェスティバル

都民芸術フェスティバル主催:公益財団法人東京都歴史文化財団

一、箏曲「令和薫風」

れいわくんぷう

東京支部出演

尾上 墨雪

花柳 寿楽 市山 松扇
松本 幸龍 勝美 伊三次
藤間 紋 吾妻 寛穂

中央プロダクション

城南プロダクション

榎若 勸二郎 花柳 園喜輔
坂東 朋奈 松島 金昇
藤見 華香 林 千永

城東プロダクション

城北プロダクション

西川 喜晶
花柳 和品
若柳 吉以

城西プロダクション

二、長唄「ねずみ」

茶屋娘実は大ねずみ

水木 扇 升

石見銀山薬売り

西川 扇衛仁

三、常磐津「京人形」

きょうにんぎょう

甚五郎 若柳 彦三衛門
京人形 花柳 貴代人

京人形

四、義太夫「小栗曲馬物語」

おぐりきよくばものがたり

井上 八千代

五、新邦楽「道成寺昔語」

どうじょうじむかしがたり

庄司の娘清姫 僧 尾上 紫 五條 珠太郎
若き山伏安珍 花ノ本 寿 藤間 豊 西川 一 右

上 人 藤間 涼太郎 藤間 延 柳 祐
若柳 宗樹 若柳 三十郎



イヤホンガイド

22日昼の部

イヤホンガイドあり(日・英)

平成から令和へ、新元号を記念して協会東京支部が製作した新曲。舞踊と音楽で平和と安寧を願います。

振付・西川箕乃助

作詞・織田紘二

作曲・四代萩岡松韻

実は大ねずみの茶屋娘が、ねずみ捕り売り歩き薬売りをこらしめるといいう干支にちなんだ楽しい演目です。

振付・橘抱舟

作曲・四代杵屋勝太郎

一途に想いをこめて彫った京人形が動き出します。最初は男のような動きですが、懐に鏡を入れると...

京舞井上流のみに伝承される珍しい演目で、小栗判官にまつわる勇壮な一節を義太夫の語りのにせて舞います。

振付・二世井上八千代

道成寺伝説を基に、安珍と清姫の愛に焦点をあて、新たな解釈で創作された現代の道成寺物です。

振付・尾上墨雪

作・海津勝一郎

作曲・常磐津英寿

一、「若獅子」

わかじし

尾上 菊透 花柳 昌鳳生
花柳 九州光 藤間 直三
花柳 寿々彦 若見匠 祐助
花柳 静久郎

平成26年に初演され話題となった本作、邦楽獅子の多彩な音色と男性日本舞踊家による圧倒的な群舞に期待ください。

振付・弧の会

作曲・若獅子会

二、長唄「春調娘七種」

はるのしらべむすめななくぎ

十郎 西川 扇左衛門
静御前 花柳 秀衛
五郎 若柳 里次朗

新春の七草と曾我狂言をからめた趣向が面白く、華やかな気分の中に古風さも楽しめる顔見世舞踊です。

三、地歌「きぎす」

与五郎 山村 友五郎
吾妻 吉村 古ゆう

物狂いの男・与五郎と恋人・吾妻の道行を描きます。上方舞らしい情趣豊かな雰囲気をお楽しみください。

四、清元「吉原雀」

よしわらすずめ

鳥売の男 若柳 壽延
鳥売の女 藤間 恵都子

舞台は江戸の吉原、放生会に訪れた鳥売りの男女が、粹で艶っぽい廓遊びの雰囲気をお楽しみください。

五、常磐津「椀久色神送」

わんきゆういろがみおくり

椀久 藤間 蘭黄
松山 市川 翠扇
番頭 花柳 寿太郎
町娘 藤間 扇 里
若柳 水木 優里
若柳 絵莉香

大正に初演された数ある椀久物の中でも異色の演目で、椀久と松山の恋の悲劇をドラマティックに描きます。

一、箏曲「令和薫風」

れいわくんぼう

東京支部出演

尾上 墨雪

花柳 寿美藏

花柳 吉優
藤里 燕

中央プロダクション

水木 紅耶

若柳 勸代

西川 扇重郎

城東プロダクション

喜衛文華

花柳 昌克

藤間 秀曄

城東プロダクション

藤間 蘭駒

城西プロダクション

西川 秀重郎

花柳 喜衛文華

西川 扇重郎

花柳 昌克

藤間 秀曄

藤間 蘭駒

西川 扇重郎

藤間 蘭駒

西川 扇重郎

藤間 蘭駒

西川 扇重郎

二、長唄「風流陣」

ふうりゅうじん

梅の精

花柳 樂彩

桜の精

若柳 杏子

桃の精

藤間 翔央

風の神

泉 秀樹

おちうど

振付・初代若柳吉蔵

お軽

中村 梅

おちうど

早野勘平

三、清元「落人」

おちうど

主君への不忠のため逃避行に旅立つ勘平とお軽。若い二人の悲痛な恋の道行を切なくも美しく描きます。

おちうど

振付・藤間勘祖

おちうど

樋口一葉の小説「にぎりえ」の主人公おりき。東京の下町で恋に生きる明治の女性を艶やかに映し出します。

おちうど

振付・二代花柳壽應

おちうど

作詞・駒井義之

おちうど

作曲・清元梅吉

四、奏風楽「おりき」

おちうど

吾妻 徳穂

おちうど

振付・西川鯉三郎

おちうど

網と壮絶な闘いを繰り広げます。

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

おちうど

網の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、切り落とされた片腕を取り返すため

一、「烏鷺の曲」

うろ きよく

花柳 智寿彦

坂東 はつ花

若柳 恵華

坂東 富起子

花柳 寛彌

藤蔭 静千華

吾妻 申品

藤蔭 静舞

西川 和あやき

藤蔭 鶴舞

花柳 寿華

藤蔭 薫子

花柳 路太

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

二、長唄「臥猫」

ふしねこ

牡猫

村橋 之助

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

牝猫

若柳 佑輝子

一、「烏鷺の曲」

うろ きよく

花柳 智寿彦

坂東 はつ花

若柳 恵華

坂東 富起子

花柳 寛彌

藤蔭 静千華

吾妻 申品

藤蔭 静舞

西川 和あやき

藤蔭 鶴舞

花柳 寿華

藤蔭 薫子

花柳 路太

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

若柳 美香

花柳 基はるな

演奏

《長唄》

〔ねずみ〕網館「賤機帯」

杵屋 勝四郎（唄）

杵屋 栄八郎（三味線）

〔春調娘七種〕風流陣「臥猫」

今藤 長一郎（唄）

杵屋 栄八郎（三味線）

《清元》

〔吉原雀〕「落人」〔保名〕

清元 美寿太夫（浄瑠璃）

清元 美治郎（三味線）

《常磐津》

〔京人形〕「椀久色神送」〔辰橋〕

常磐津 一佐太夫（浄瑠璃）

常磐津 文字蔵（三味線）

《義太夫》

〔小栗曲馬物語〕

竹本 駒之助（浄瑠璃）

鶴澤 津賀寿（三味線）

《地歌》

〔きざす〕

富山 清琴

《奏風楽》

〔おりき〕

杵屋 秀子（唄）

長谷川 春風（三味線）

《新邦楽》

〔道成寺昔語〕

常磐津 兼太夫（浄瑠璃）

杵屋 秀子（唄）

常磐津 文字兵衛（三味線）

《箏曲》

〔令和薫風〕

萩岡 松韻（箏）

今藤 政子（唄）

今藤 長龍郎（三味線）

《囃子》

堅田 新十郎

《録音音源による上演演目》

〔若獅子〕「烏鷺の曲」

各回、古井戸秀夫
東京大学名誉教授による
作品解説があります。

【チケット料金】

1等 9,000円（指定席） / 2等 5,500円（指定席） / 3等 2,000円（自由席）

【前売り開始日】

令和元年12月25日（水）10時より

【チケット取扱】

■ ヴォートルチケットセンター

電話:03-5355-1280（オペレーター対応 平日10時～18時）

■ 電子チケットびあ

電話:0570-02-9999（Pコード:498-686）インターネット予約 <http://t.pia.co.jp>

■ 国立劇場チケットセンター（窓口取扱いのみ）

東京都千代田区隼町4-1 電話:03-3265-7411

【各種割引】

25歳以下割引・障害者割引

当日会場受付にてお一人様 1,000円キャッシュバック（1等、2等限定）

※ 前売・当日売に関わらずキャッシュバックいたします。公演当日に限りです。

※ 当日年齢が確認できる証明書・障害者手帳を日本舞踊協会受付でご提示ください。

【主催・お問い合わせ】



公益社団法人

The Japanese Classical Dance Association

日本舞踊協会

03-3533-6455

（平日10時～17時）

【後援】

